



施工完了 チェックシート

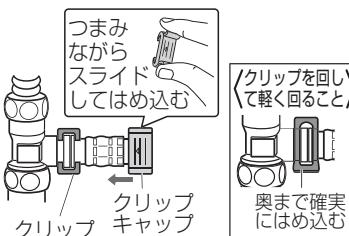
◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

確認日	年 月 日
確認者	

1□から6□を
 チェック

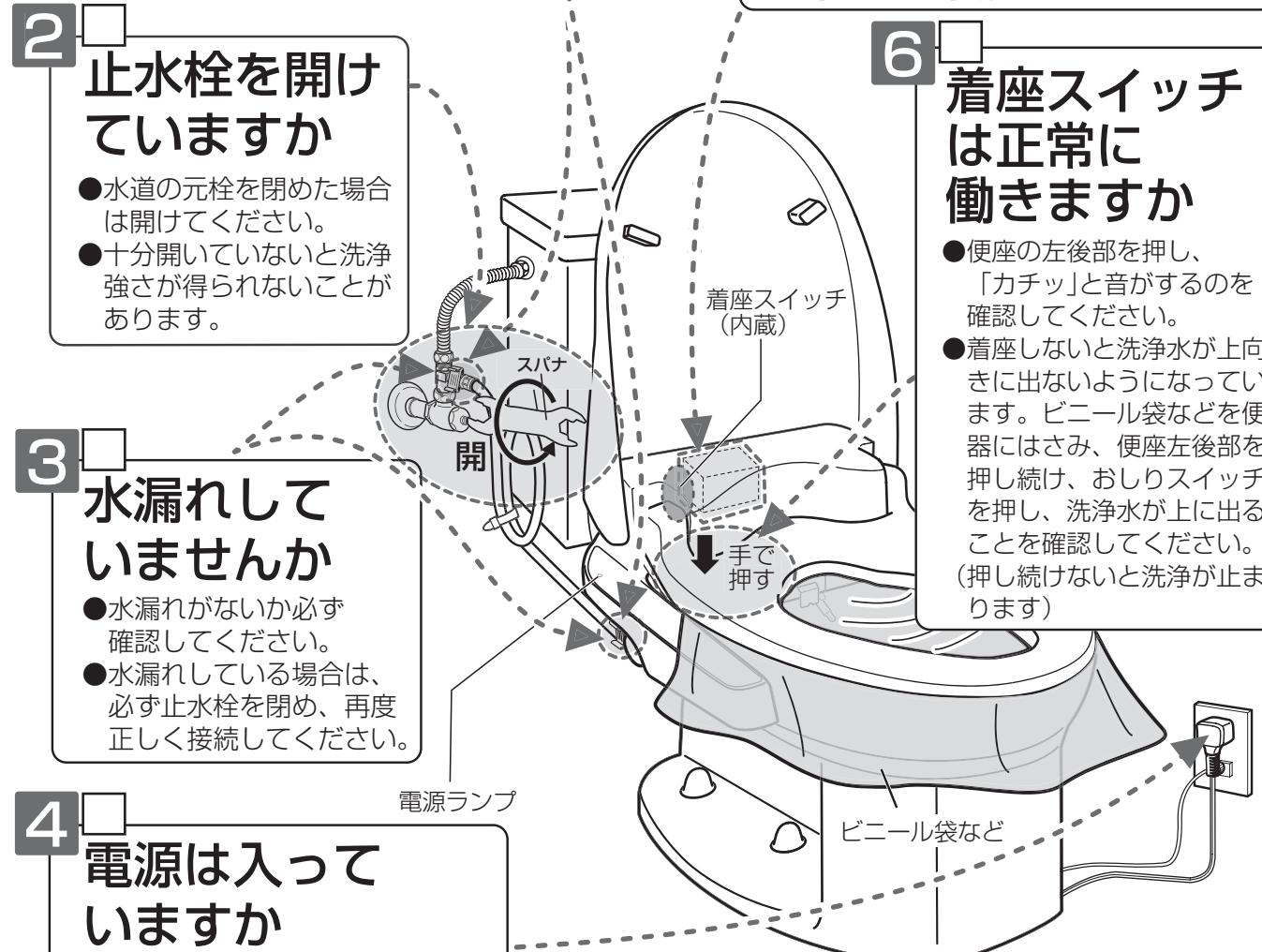
1 クリップ・クリップキャップを正しく取り付けていますか

- クリップ・クリップキャップが確実に入っていますか。
- クリップが回りますか。
- ホースを引っ張っても抜けませんか。



5 温水タンクに水が入っていますか

- 設置完了後、本体のおしりスイッチを押すと、おしりノズルが出て、タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出るとタンクに水が入っています。
※ノズルの左から出る水は、圧力逃がし水であり、水漏れではありません。



お願い ●試運転は、必ず行ってください。

パナソニック株式会社 トワレ・ヒーティングビジネスユニット

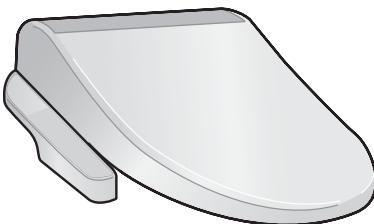
〒639-1188 奈良県大和郡山市筒井町800番地

DL949A-QBCP1
CS0808-1049

設置工事説明書

温水洗浄便座 (家庭用)

品番 DL-EAX11 DL-EAX21 DL-EAX31



ページ	1	●安全上のご注意
	2	●設置の前に
	3	●各部の名前と同梱部品の確認
<hr/>		
2	6	●設置工事の流れ
	8	●止水栓を閉める 止水栓がある場合 止水栓がない場合
	9	●分岐水栓を取り付ける 初めて温水洗浄便座を取り付ける場合 既設の温水洗浄便座から取り替える場合
<hr/>		
3	10	●給水ホースを本体に取り付ける
	12	●本体を取り付ける
	13	●給水ホースを分岐水栓に取り付ける
	14	●アース線の接続
	15	●止水栓を開ける
<hr/>		
4	16	●試運転
<hr/>		
5	17	●こんなときは 裏表紙 ●施工完了チェックシート

準備

設置

取付

試運転

確認

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



D種接地工事を行う

アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

設置工事は、設置工事説明書に従って確実に行う

説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

設置工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する

指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因となります。

電気工事は、内線規程に従って施工する

内線規程に従わないと、火災、感電の原因となります。

コンセントのアース端子にアース線を取り付ける

アース工事がされていないと、故障や漏電のときに感電する原因となります。



水場使用禁止
バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない
感電や火災の原因となります。



水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う

条例に基づいて行わない、水漏れの原因となります。

移動や設置時、本体を持つ

便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因となります。

上水道以外には接続しない

ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因、または異物の混入などで配管がつまり、故障の原因となります。

設置の前に

取付前のお願い

本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない

故障の原因となります。

- 使用水圧範囲は49~735 kPa、{0.5~7.5 kgf/cm²} です。
- 本体内の残水が凍結している場合は、暖かい部屋に放置し、とかしてから設置する。
- 必ず同梱の分岐水栓をご使用ください。

この商品は水道水を使って検査をしています。

商品を取り出す際に多少の水滴が出ることがあります、異常ではありません。

■給水管の長さの確認

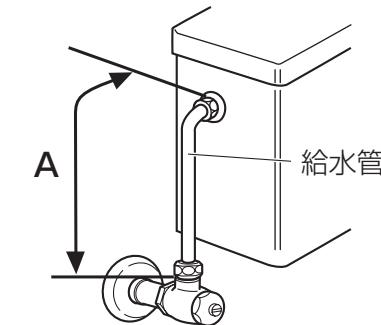
同梱のフレキシブルパイプの長さは350 mmです。

フレキシブルパイプは切断しないでください。

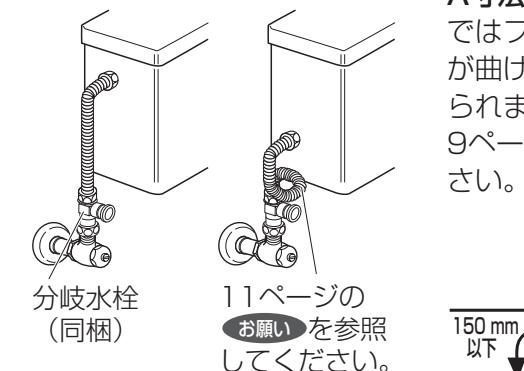
右図のA寸法が、約150~380 mmの場合は、取り付けできます。

但し、上記以外の場合は、下記②③の部材購入が必要です。

同梱のフレキシブルパイプ（給水管） 口径：G1/2

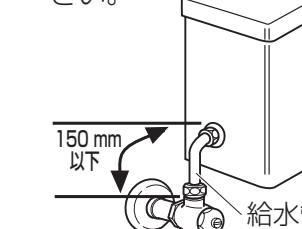


①A寸法が約150~380 mmの場合の設置例



②給水管が短い場合または外れない場合

A寸法が約150 mm以下ではフレキシブルパイプが曲げられず、取り付けられません。この場合、9ページを参照してください。



③A寸法が約150~380 mm以外の場合
別売品またはホームセンターなどで市販品を購入してください。

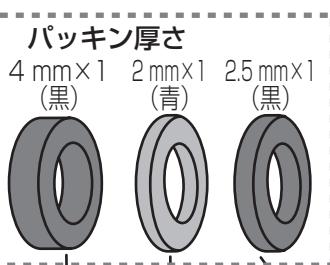
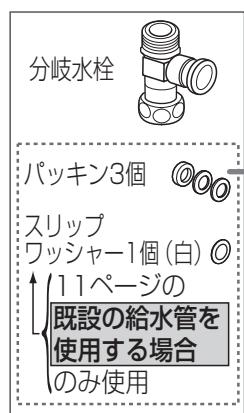
	フレキシブルパイプの長さ	品番	本体希望小売価格
別売品	250 mm	☆ AD-HS25B	630円 (税抜600円)
	300 mm	☆ AD-HS30B	704円 (税抜670円)
	400 mm	☆ AD-HS40B	809円 (税抜770円)
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を購入してください。	

☆は、システム部材開発センター扱い（別売品）です。
価格は2009年4月現在の希望小売価格です。
価格・品番は変更される場合があります。

各部の名前と同梱部品の確認

設置方法によっては、パッキンやキャップなど、使用しない部品があります。

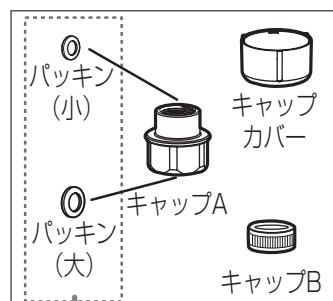
① 分岐水栓セット



② フレキシブルパイプ(給水管)
(長さ:350 mm)



③ キャップセット



パッキン厚さ
2.5 mm

2.5 mm

大

小

小

パッキン
(大)

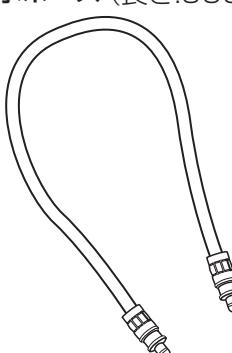
パッキン
(小)

キャップA

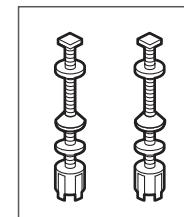
キャップB

キャップカバー

④ 給水ホース (長さ:950 mm)



⑤ 取付ボルトセット

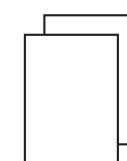


⑥ クリップ
クリップキャップ



⑦ 結束バンド

⑧ 説明書セット
(取扱説明書・設置工事説明書)

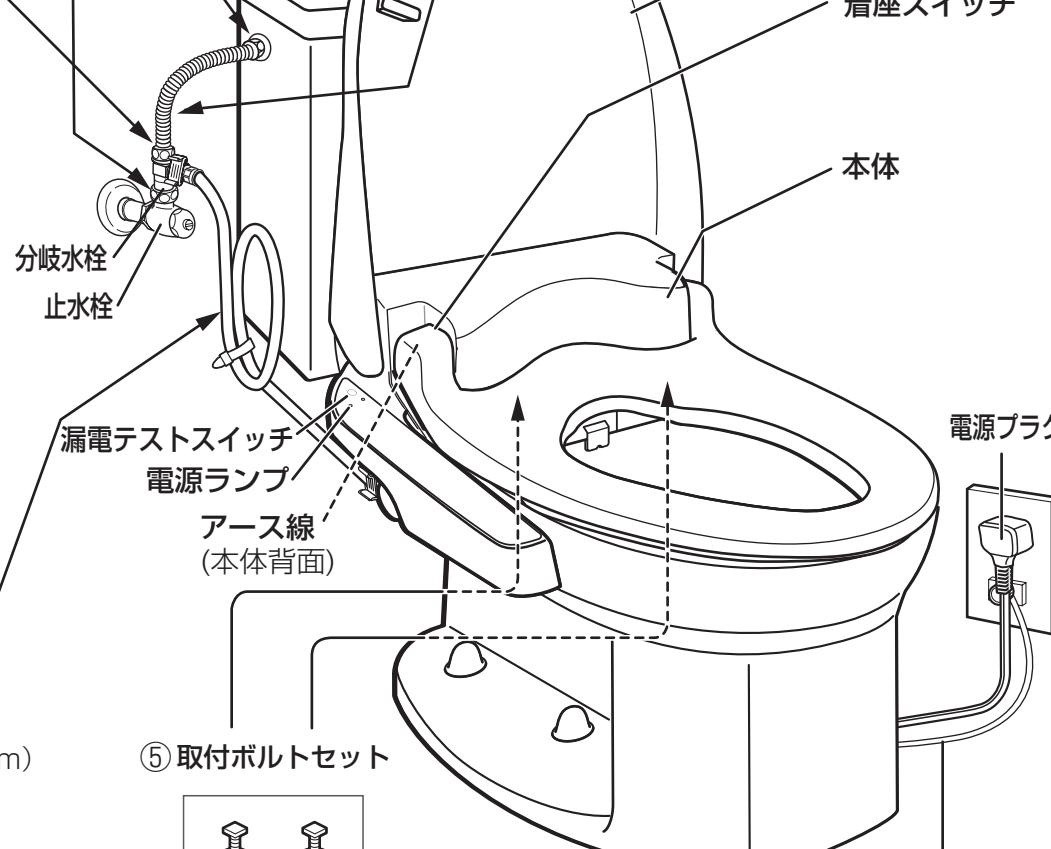


⑨ スパナ



⑩ アース線

ロータンク
便ふた
着座スイッチ
本体



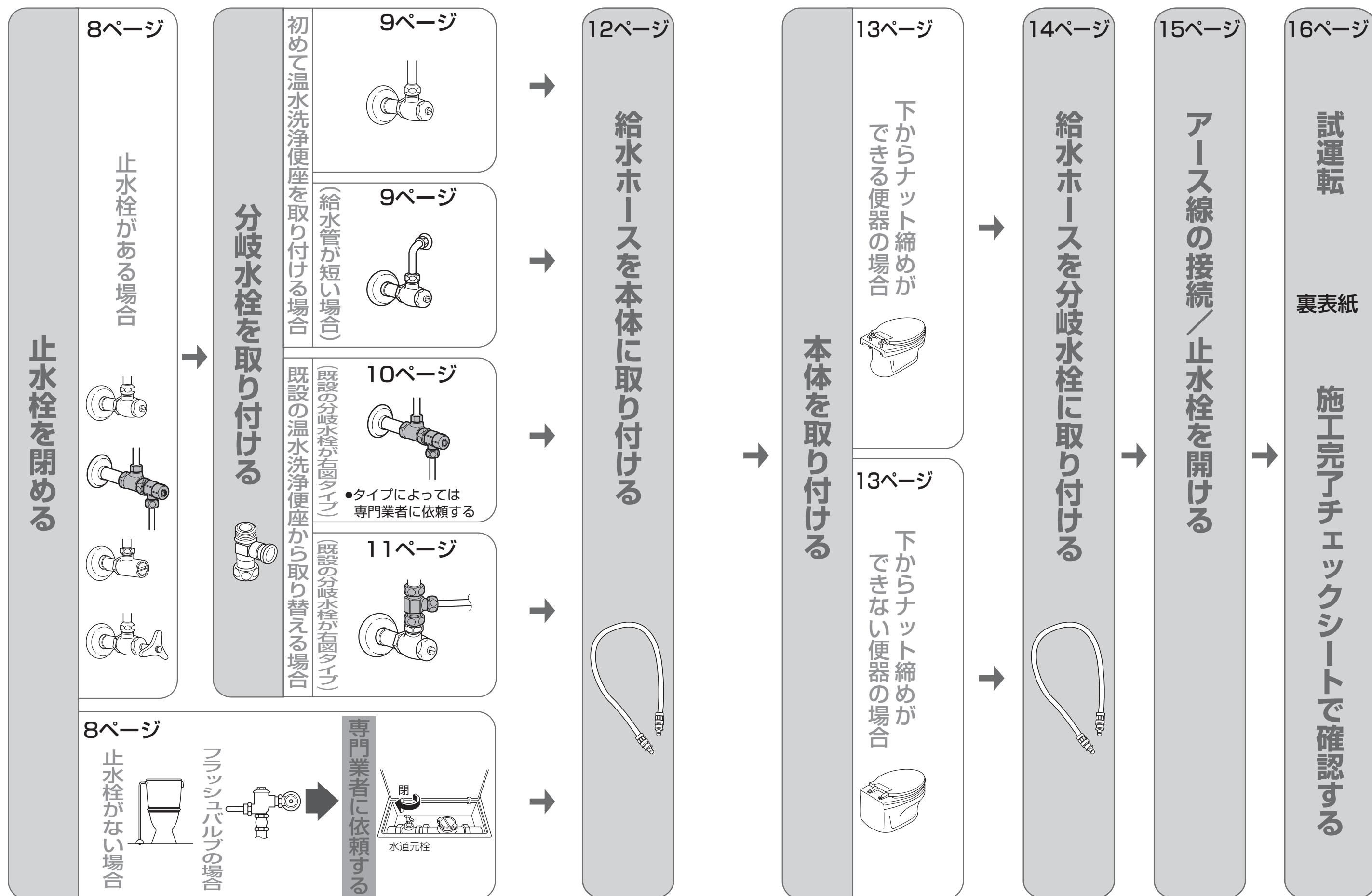
番号	部品名	部品品番 ※	数量
①	分岐水栓セット (分岐水栓 パッキン薄い黒2.5 mm厚さ×1 パッキン青2 mm厚さ×1 パッキン厚い黒4 mm厚さ×1 スリップワッシャー(白)×1)	DL531A-PFC00	1
②	フレキシブルパイプ(給水管)	DL591A-X7JB0	1
③	キャップセット (キャップカバー キャップA キャップB パッキン大:黒2.5 mm厚さ×1 パッキン小:黒2.5 mm厚さ×1)	DL542A-Z6JS0	1
④	給水ホース	DL432A-Z6JS2	1
⑤	取付ボルトセット	DL552A-X1JS0	1
⑥	クリップ・クリップキャップ	DL792A-Z1JS0	各2
⑦	結束バンド	TSL-150-I	2
⑧	説明書セット (取扱説明書 設置工事説明書)	DL940A-QBCP0 DL949A-QBCP0	1
⑨	スパナ	DL972A-X7JB1	1
⑩	アース線(本体接続済み)	DL193A-X3KB2	1

※部品品番は予告なく変更することがありますので
ご了承ください。

ご注意

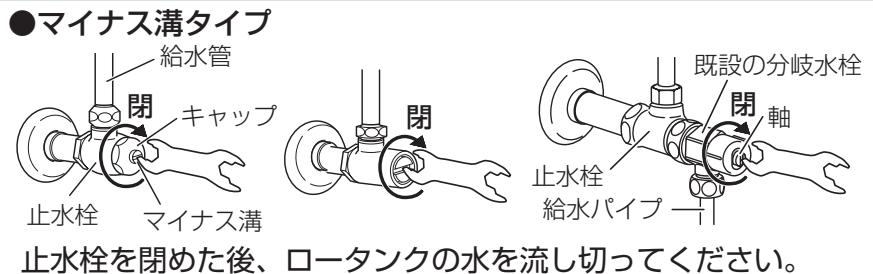
- 同梱のパッキンをご使用ください。
(他のパッキンをご使用されますと接続部が
破損するおそれがあります)

設置工事の流れ



止水栓を閉める

■止水栓がある場合



9~11ページ

分岐水栓を取り付ける

■止水栓がない場合 → 設置については専門業者に依頼してください

分岐水栓を取り付ける 〔分岐水栓の締め付け方〕
→9ページ参照 ★は、同梱部品です。
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。

寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

1 水道の元栓を閉める
2 給水管に分岐水栓を取り付ける

●取り付け順・方向を間違わない。

TOTO製の場合

1 水道の元栓を閉める
2 分岐水栓を取り付ける

●右図のような取付口がある場合、アダプターは不要です。
●分岐口有りの場合は、別売品のアダプターを取り付ける。
●分岐口無しの場合は、接続管を取り付ける。
1. フラッシュバルブ本体から接続管を外す。
2. フラッシュバルブ用アダプター(別売品)を取り付ける。
3. 分岐水栓の異径アダプター側をふさぐ。
4. アダプターに分岐水栓を接続する。

INAX製の場合

1 水道の元栓を閉める
2 ②部を外す
3 フラッシュバルブ用アダプターを取り付ける

65年~78年7月までの一般用
☆AD-K014GWS (INAX製)
78年8月~90年5月までの一般用
☆AD-K012GWS (INAX製)
90年6月以降の新型節水用
☆AD-K011GWS (INAX製)

別売品一式

ホース接続アダプター(クイックフランジー用)
★パッキン(薄い黒2.5 mm厚さ)
★分岐水栓
異径アダプター側をふさぐ
ゴムパッキン
アダプターに付属
樹脂リング
●取付後、水道の元栓を開けてください。

別売品: フラッシュバルブ用アダプター

フラッシュバルブの形状などにより、使用するアダプターが異なります。

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が付いている場合
★AD-TH343R

フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が付いている場合
図①
分岐口
★AD-TH484-1R
図②
A
普通形フラッシュバルブの場合
★AD-TH484-1R
図③
A寸法が120 mmの場合
★AD-TH484-1R
A寸法が120 mm以外で、普通形フラッシュバルブの場合
★AD-TH502-1R
A寸法が120 mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合
★AD-TH347-1R
A寸法が120 mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合
★AD-TH484-1R
曲がり管
●取付後、水道の元栓を開けてください。

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

12ページ

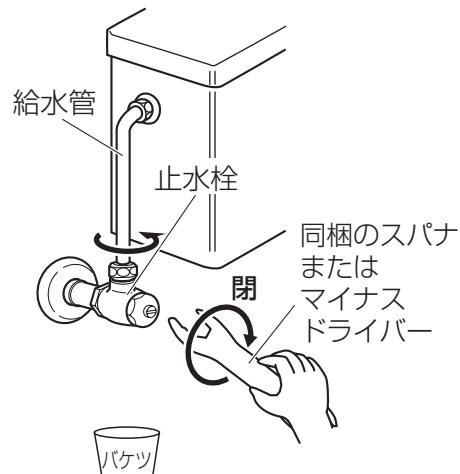
給水ホースを本体に取り付ける

分岐水栓を取り付ける

初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

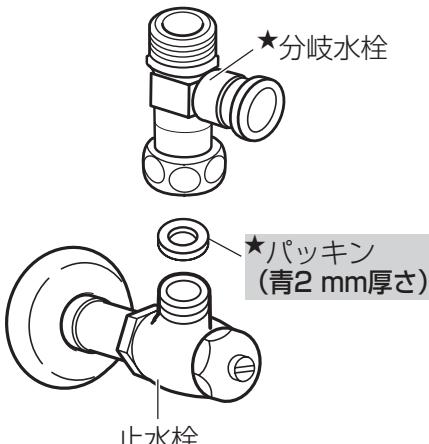
★は、同梱部品です。

1 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す

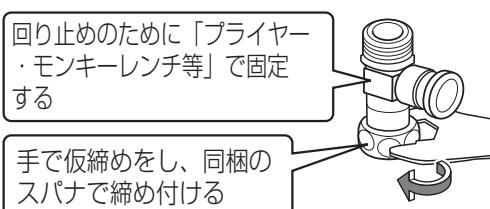


●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

2 分岐水栓を止水栓に取り付ける

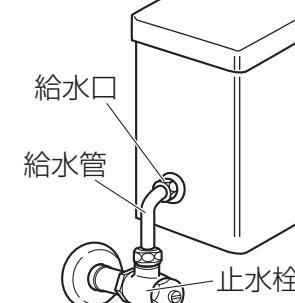


3 分岐水栓の締め付け方



給水管が短い場合、給水管が外れない場合

下記の別売品を販売店で購入してください。



ロータンクの給水口と止水栓の間の距離が短く本体同梶の分岐水栓とフレキシブルパイプが接続できない場合は、別売の分岐水栓を下記に従って接続してください。

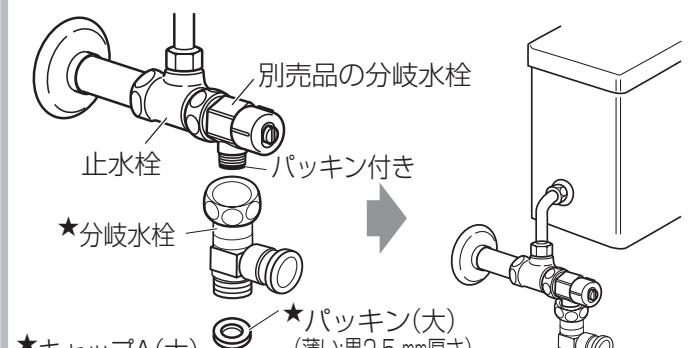
〈別売品〉品番: DL531A-X1JS0



1 水道の元栓を閉める

2 別売品の分岐水栓を取り付ける

3 本体同梶の分岐水栓を取り付ける



本体同梶のフレキシブルパイプは使用しません

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

11ページ 分岐水栓を取り付ける
2 給水管の取り付け

12ページ

給水ホースを本体に取り付ける

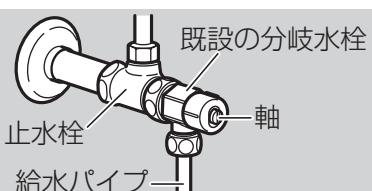
設置

分岐水栓を取り付ける

既設の温水洗浄便座 から取り替える場合

★は、同梱部品です。

既設の分岐水栓が右図のタイプ A



既設の止水栓を元に戻す場合 → □内の部品が必要です。専門業者に依頼してください。

① 水道の元栓を閉める

- 元栓を閉める前にガス湯沸器や洗濯機などを使用中の場合は止めてください。
- 閉栓後は近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。

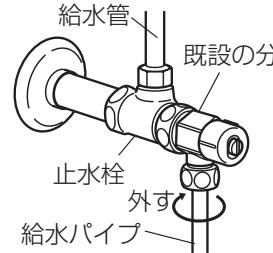


一般的な
マンションの場合

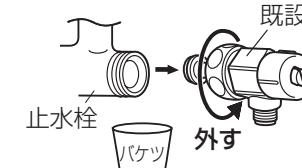
水道メーターと一緒に
なった元栓の場合

埋込み式の元栓の場合

② 給水パイプを外す

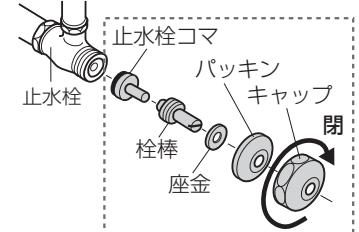


③ 既設の分岐水栓を止水栓から外す

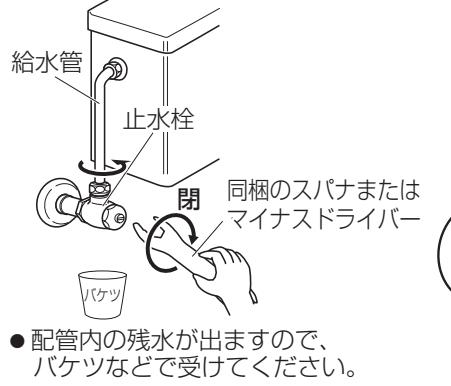


●配管内の残水が出ますので、
バケツなどで受けてください。

④ 止水栓を元にもどす



⑤ 止水栓が閉まっていることを確認し、 給水管を外す



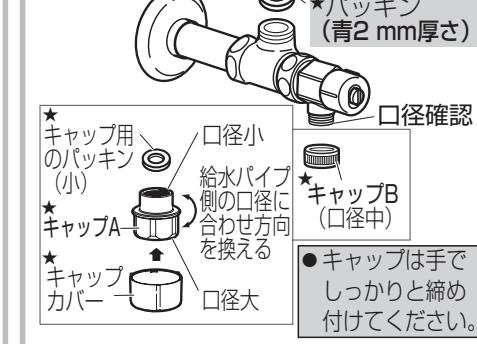
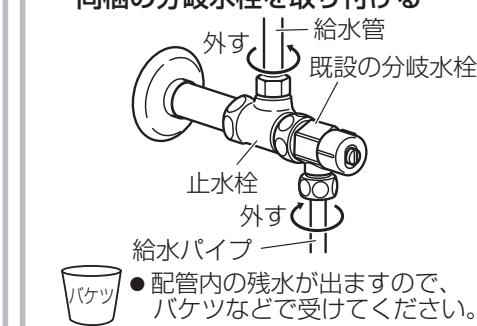
●配管内の残水が出ますので、
バケツなどで受けてください。

既設の分岐水栓を外さずに取り付ける場合
下図①の※(口径)に、同梱のキャップセットが合う場合は、下記の手順で取り付けできます。

① 止水栓が閉まっていることを確認する



② 給水管と給水パイプを外し、 同梱の分岐水栓を取り付ける



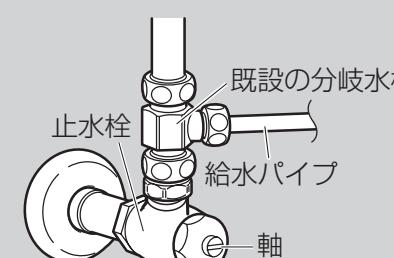
●口径に合わせてA,B2種類のキャップ、大小2種類のパッキンから合うものを選んでください。ただし、既設の分岐水栓にパッキンが付いている場合は、同梱のパッキンは使用せず、そのままキャップを取り付けてください。

⑥ 分岐水栓を止水栓に、取り付ける



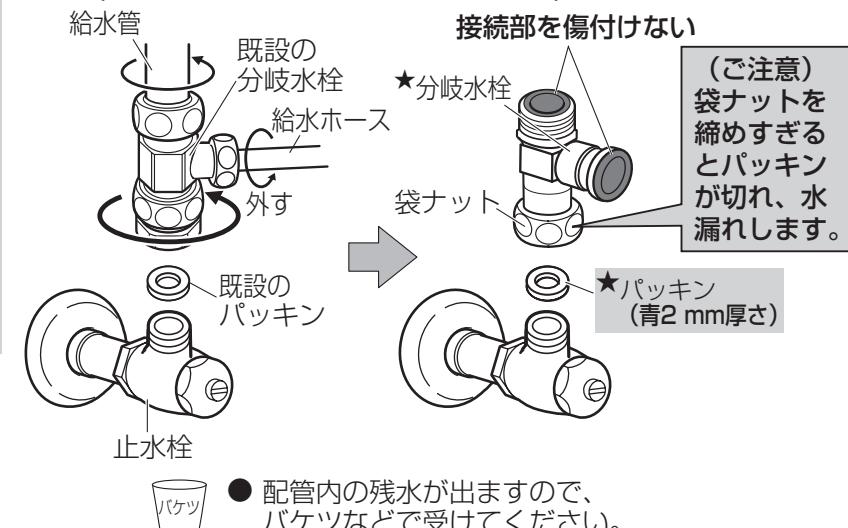
●口径に合わせてA,B2種類のキャップ、大小2種類のパッキンから合うものを選んでください。ただし、既設の分岐水栓にパッキンが付いている場合は、同梱のパッキンは使用せず、そのままキャップを取り付けてください。

既設の分岐水栓が下図のタイプ B



① 給水管を外してから、同梱の分岐水栓に交換する

〔分岐水栓の締め付け方〕 → 9ページ参照



●配管内の残水が出ますので、
バケツなどで受けてください。

② 給水管の取り付け

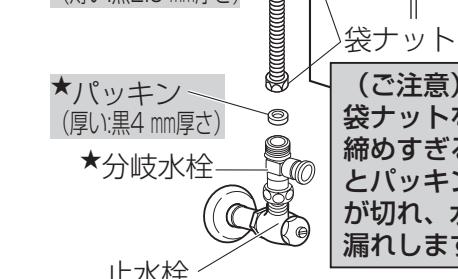
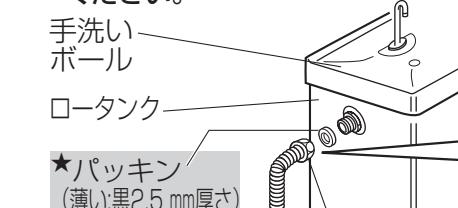
フレキシブルパイプを使用する場合

同梱のフレキシブルパイプを使用し、接続する。
口径 : G1/2

お願い

フレキシブルパイプは

- 曲げ過ぎない
- 何度も曲げ直さない(折れることができます)
- 曲げるときは袋ナットを両端に寄せてからL型に曲げる(袋ナットが移動できなくなります)
- 切断しない
- 長さが合わないときは、別売品または、ホームセンターなどで市販品を購入してください。



既設の給水管を使用する場合

●分岐水栓側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあうような長さに給水管を切断。(フレア加工している場合は、切削長さに注意)

●分岐水栓への差込代は約10 mmを必ず確保する。



11ページ

分岐水栓を取り付ける

② 給水管の取り付け

12ページ

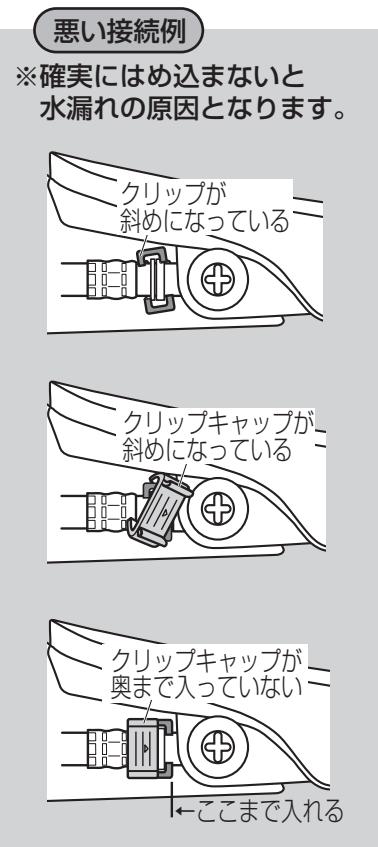
給水ホースを本体に取り付ける

給水ホースを本体に取り付ける

1 本体への接続

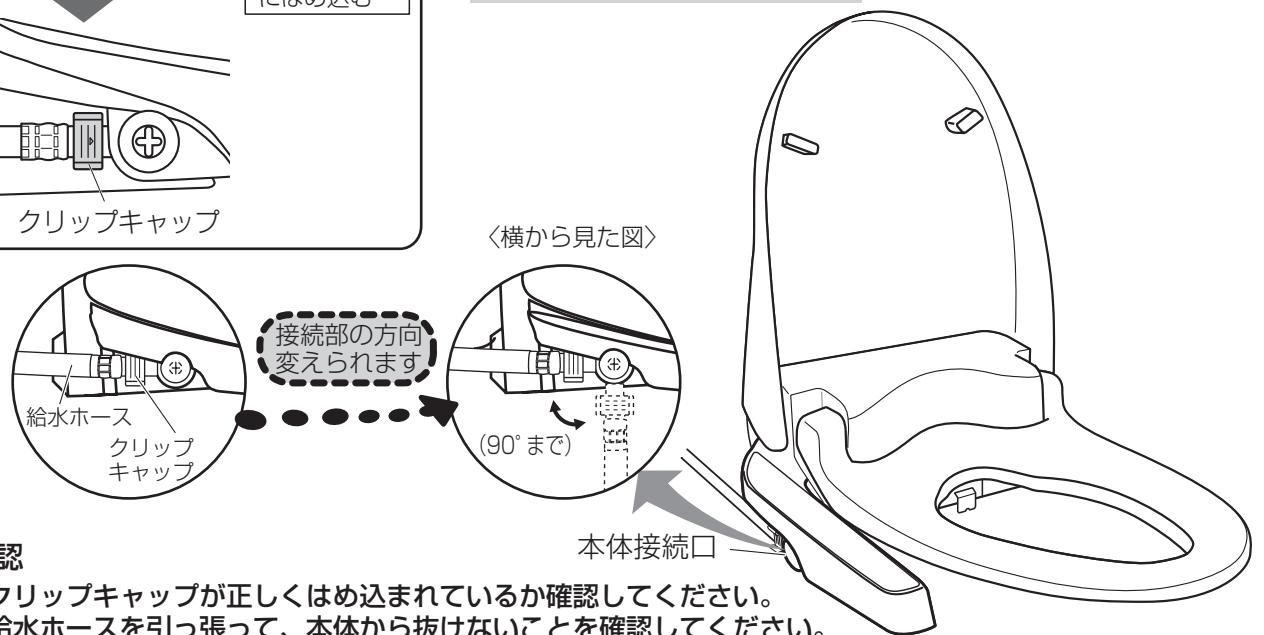
- 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。
- クリップを給水ホースと本体接続部に奥まで差し込む。
- クリップにクリップキャップを△の方向に確実にはめ込む。

ご注意 ●本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む



ご注意

- 給水ホースは切断しない
- 給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
- 付属の結束バンド以外で結束しない
- 給水ホースは小さく曲げない (小さく曲げると折れて水の流れが悪くなることがあります: 最小曲げ半径 約10 cm)



2 確認

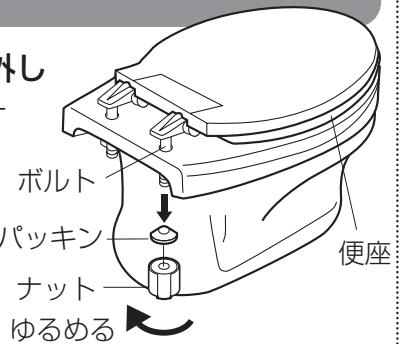
- クリップキャップが正しくはめ込まれているか確認してください。
- 給水ホースを引っ張って、本体から抜けないことを確認してください。

本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

1 既設便座の取り外し

- ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
- ナットとパッキンを外し便座を取り外す。



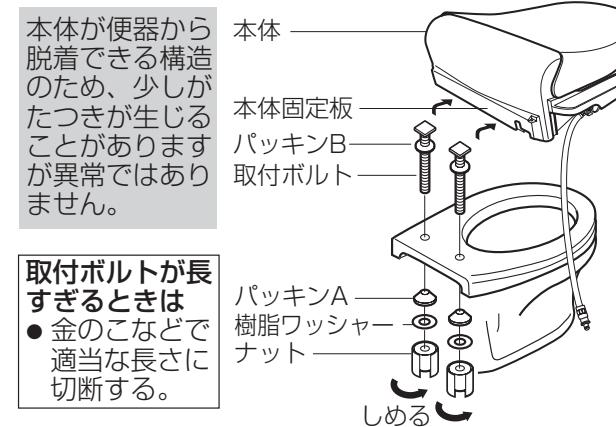
(ナットがさびてゆるまないときは)

- 市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
- 取れないときは、金のこでボルトを切断する。

2 本体の取り付け (同梱の取り付けボルトセット使用)

- 取付ボルトからナット・樹脂ワッシャー・パッキンAを外す。
- 取付ボルトを本体裏面にある本体固定板の溝に差し込む。
- パッキンBを上に動かして、本体固定板と取付ボルトを仮固定する。
- 本体を便器に取り付け、取付ボルトにパッキンA・樹脂ワッシャーの順で取り付けた後、ナットを手でしっかりと締め付ける。

(ご注意) 工具でナットを締め付けないでください。



■便ふたの後部がロータンクに当たる場合

⇒すれない程度に少し前に引き出して取り付ける。

■便器によって便座が倒れやすい場合

⇒倒れない程度に少し前に引き出して取り付ける。

本体裏面のノズル収納部が便器に乗り上げないように注意する。

本体を便器に設置後、本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

下からナット締めができない便器の場合

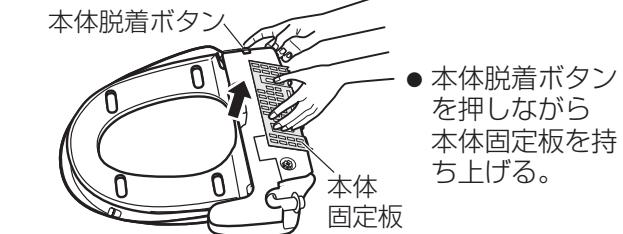
1 既設便座の取り外し

- 固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。
- 取り外した部品は、取り付け時に使用します。



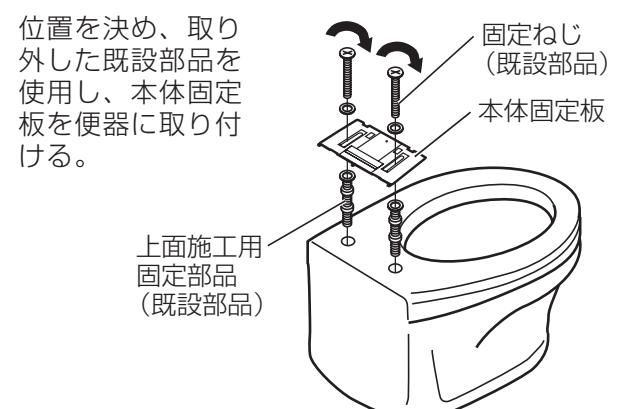
2 本体固定板の取り外し

本体裏面より本体固定板を取り外す。



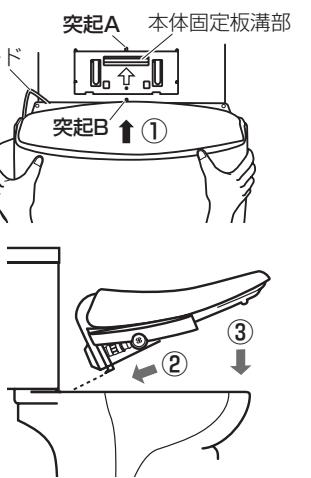
3 本体固定板の取り付け (既設の部品を使用)

位置を決め、取り外した既設部品を使用し、本体固定板を便器に取り付ける。



4 本体の取り付け

- 右図のように突起Aに突起Bを合わせる。
- 手前を浮かせた状態で斜めに差し込む。
- 「カチッ」と音がするまで上から押す。
- コードを本体と便器の間にはさみ込まないようにしてください。



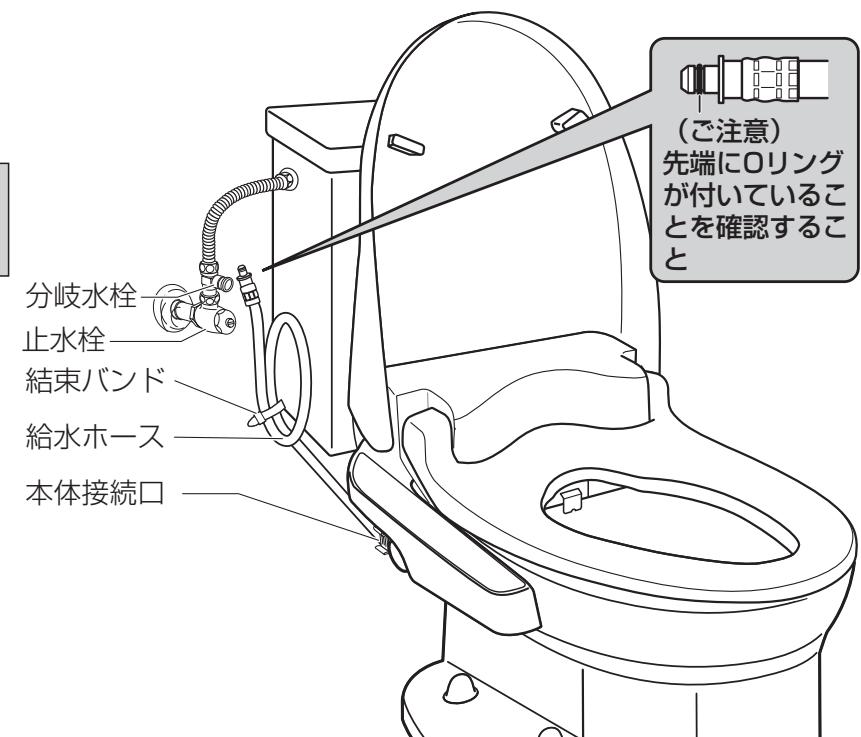
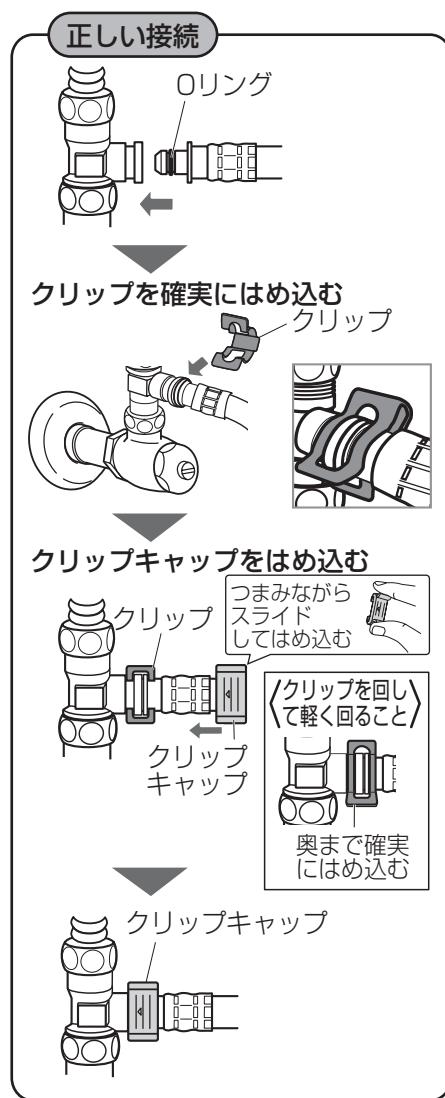
給水ホースを取り付ける

1 分岐水栓への接続

- 1.給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、分岐水栓の接続口にまっすぐ差し込む。

(ご注意) 給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。

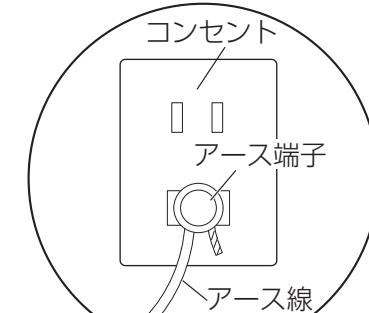
- 2.クリップを給水ホースと分岐水栓の接続部に奥まで差し込む。
- 3.クリップにクリップキャップを△の方向に確実にはめ込む。



アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

(アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください)

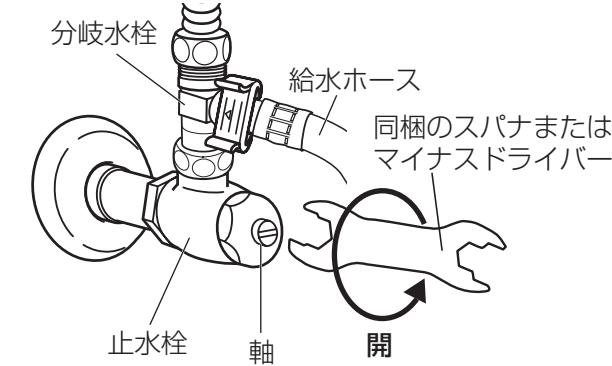


上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

各接続部がきっちりと接続されていることを確認してください。

- ・水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- ・手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度に止水栓の軸を開けてください。
- ・十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。



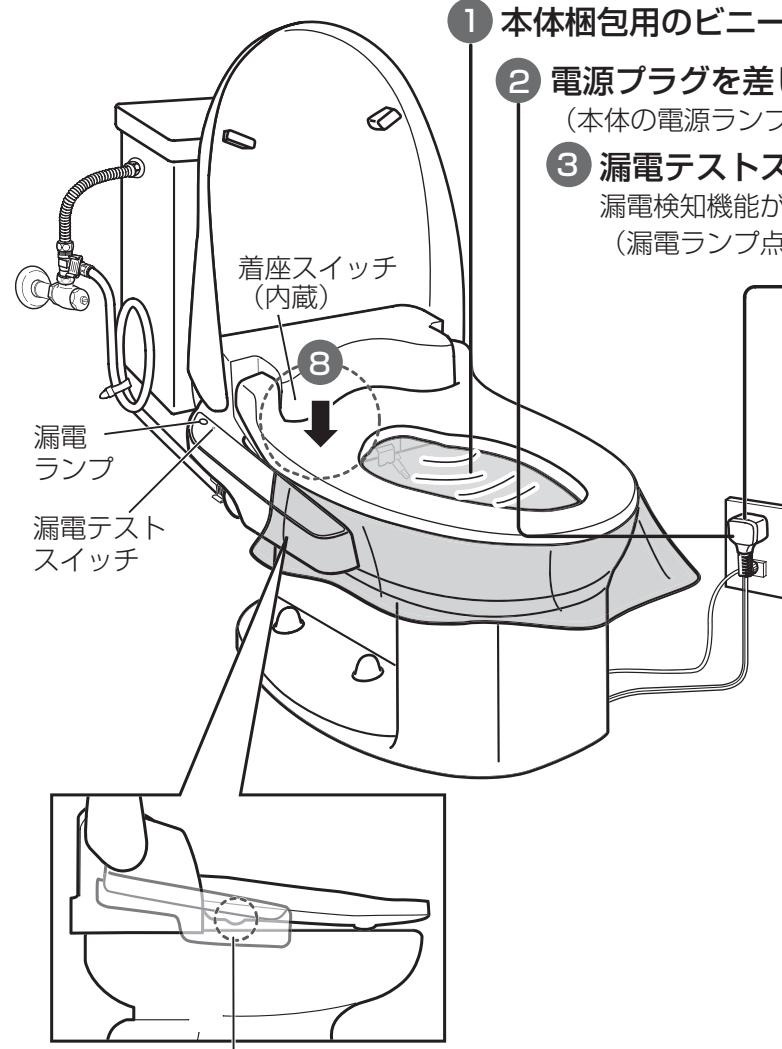
2 確認

- ・クリップキャップが正しくはめ込まれているか確認してください。
- ・給水ホースを引っ張って、分岐水栓から抜けないことを確認してください。

試運転

試運転の前に… 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認してください。
(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)
給水接続部から水漏れがないかを確認してください。

手 順



便座の後ろ脚の両方が浮いている状態が正常です。この浮き（隙間）がないと座ったときに着座スイッチが「入」になりません。また、便器によっては前脚の片側も浮いている場合がありますが、着座すると接触するため異常ではありません。

温水タンクの空だき防止装置について

- 試運転の手順③、④が終わった時点で、本体操作部の温水温度設定ランプの「高」と「低」が同時に点滅している場合は、温水タンクの空だき防止装置の作動で故障ではありません。

〈この場合は…〉

- 止水栓が開いていることを確認し、そのままで約4~10分待って、再度手順④から試運転を行う。

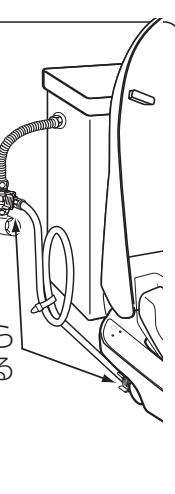
洗浄停止中、ノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水が温まつたときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。
(洗浄後、約7~8分)

こんなときは

現象

考えられる原因と処置方法

参考ページ

洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	▶ 水道の元栓が全開になっていない ▶ 止水栓が開になっていない ▶ 水道水フィルターが つまっている ▶ ロータンクに水が給水中	▶ 水道の元栓を全開にする ▶ 止水栓を開にする ▶ 掃除する ▶ 水が貯まるのを待つ	10 15 取扱説明書 —
ロータンクの水が入らない、止まらない	▶ ロータンク内の浮子が ゆがんでいる	▶ 浮子がゆがまないように 袋ナットを締め付け直す	11
手洗い管から水はねする	▶ 水圧が高く給水量が多い	▶ 止水栓を適量に絞る	15
	▶ 給水ホース先端の Oリングにゴミが 付着 ▶ ナットの締め付け力が不足 ▶ 締め過ぎによるパッキンなどの ずれ ▶ クリップの はめ込み不足や、 ずれ	▶ Oリングのゴミを取り除く ▶ 増し締めする ▶ それをなくす ▶ 確実にはめ込む (クリップを回し) て軽く回ること 奥まで確実 にはめ込む	12 — 11 12
電源が入らない	▶ テストスイッチを押した などで漏電検知機能が 作動 (本体の漏電ランプが点灯)	▶ 電源プラグを 差し直す	16
本体操作部の温水 温度設定ランプの 「高」と「低」が 同時に点滅する	▶ ●止水栓が開になっていない ●止水栓を開にする前に電源 プラグをコンセントに差し 込んだ	▶ 止水栓が開いていることを確認し、 そのままで約4~10分待って、 その後、再度試運転を行う	16
作動しない	▶ 着座スイッチが入っていない (便器に歪みがあります)	▶ 調節用パッキンで便器の歪みを調整する (品番: ADL502B-0150)	—

工事後の注意

凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）

